

看護技術研修(基礎Ⅰ・基礎Ⅱ)

～信頼される安全な看護を目指す～

新卒者62名が看護技術研修(基礎Ⅰ・基礎Ⅱ)を受講しました。研修では、これまでの基礎教育の学びを振り返り、看護技術動画を視聴後に部署の教育担当者の指導を受けながら演習を行いました。研修者はそれぞれの看護技術の難しさを感じつつも、安全を第一とした確実な看護ケアの実施と安楽への配慮の必要性を学んでいました。また研修を通して自己の課題とその方策を見出していました。

経口・直腸与薬



7Rの確認の大切さを学んでいました。

移動・移乗・移送 (車椅子・ストレッチャー)

実際に患者役を体験して安全な移送の方法について検討しました。



麻痺がある患者を想定して、安全な移乗・移送方法を考えました。

口鼻腔吸引

吸引圧や一回の吸引時間について学びました。



末梢静脈点滴



キョクイファイナルチェックに沿って、指差し声出し確認を行いました。

インスリン療法 皮下注射



各部署で使用している血糖測定器を使って手技を確認しました。

針を支える指の固定に難しさを感じていました。



輸液・シリンジポンプ

正しいポンプの取り扱いや操作が、患者の安全につながることを学んでいました。



閉塞アラームの対応を指導者と共に確認しました。

酸素療法



正しく酸素送気されているか、見て、聞いて、感じて確かめました。

口腔ケア

誤嚥せず効果的に口腔ケアを実施する手順を確認しました。



静脈採血



お互い患者役を経験しました。

経尿道的 膀胱留置カテーテル



清潔と不潔を意識して、手順を確認しました。

筋肉注射

アフィキショクを疑ったときのアドレナリンの筋肉注射では、緊急時にどのように対応したらよいか研修者同士で検討していました。



浣腸



声掛けや羞恥心に配慮したケアを意識していました。



★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当